



建設

▶従業員数 25名

▶主な効果 時間の効率化

株式会社 浜松建設 様



導入当初の
主な目的

多忙になっていく社員たちの働き方を改革する ポリコムのビデオ会議システム。

お客様に対して「豊かな緑に包まれた暮らしの提案」をしているという株式会社 浜松建設 様は、そのオフィスも特別です。元々は島原が本拠地でしたが、諫早の広々としたみかん畑だった現在本社がある土地を気に入り、モデルハウス、癒しの空間「風の森」、オフィスを構えました。「家づくりは、メインストリートに事務所を建てて大きな看板を出すような商売じゃない」とは、代表取締役の濱松和夫様。ビジネスのためにだけ人が訪れるような場所ではなく、近隣の人はもちろん、遠方の人まで、遊びに来たり、お茶を飲みに来たりするような空間にしたかったそうです。それが、癒しの空間「風の森」。訪れる人たちにも心地よい空間である本社周辺は、社員にとっても気持ちよく働ける仕事場です。

長崎県内にそのような“森”を3つ有するという同社は、モデルハウスを6ヶ所、さらに建設現場を多数抱えていますが、動ける人数は限られています。会議などで島原支店や佐世保支店の社員たちが諫早の本社と行き来することにも非常な無駄を感じていました。ますます多忙になる社員たちの働き方改革という大きな課題を、ポリコムのビデオ会議システムが解決しています。

HA 浜松建設

株式会社 浜松建設

本社所在地:

〒854-0206

長崎県諫早市森山町

唐比北341-1

設立:1993年

<https://hamamatsu-kensetsu.co.jp/>

長崎県の木造住宅コンクールで「最優秀賞」など20以上の賞を獲得している株式会社 浜松建設 様。単に建物を売るという商売ではなく、「夢を語り合い、ライフプランを聞いて、それを現実に形にしていくと、人生を共にする家が出来上がった」という信念で家づくりをしています。

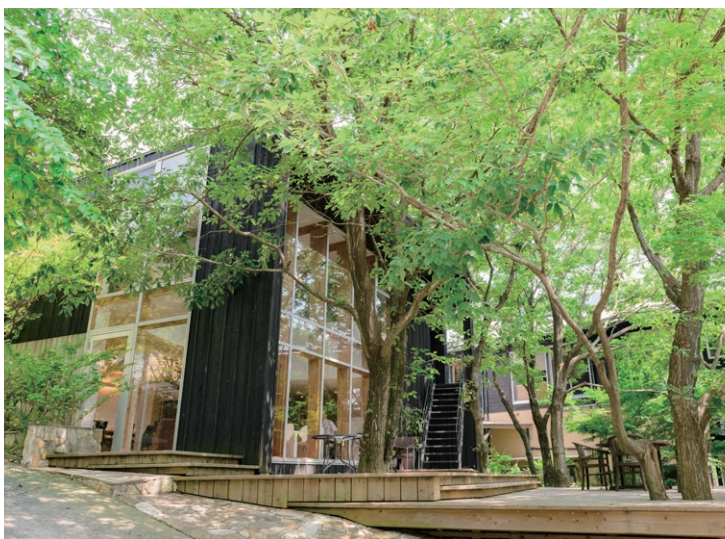
■導入システム一覧

ビデオ会議システム(各拠点端末)

- RealPresence Group 500 EagleEye IV-4xカメラモデル
- RealPresence Group 310 EagleEye IV-4xカメラモデル
- RealPresence Group 310 Acousticカメラモデル
- RealPresence Desktop(PC)
- RealPresence Mobile(iPad)

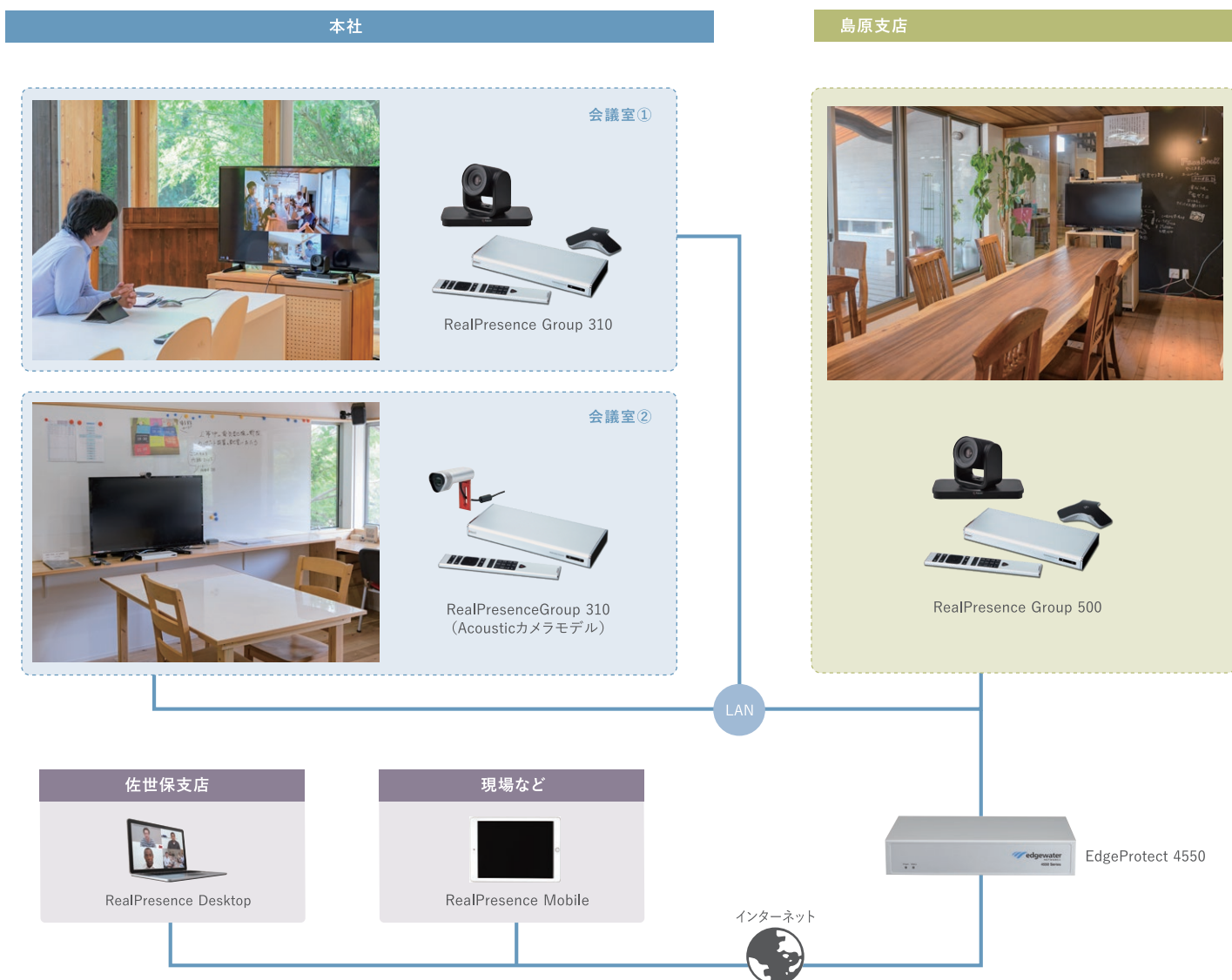
運用・管理サーバー

- EdgeProtect 4550 5セッションモデル (Edgewater Networks社製)



人が訪ねたくなることを意識した本社外観。

[システム構成]



検討と導入

ネットワーク環境への適応やランニングコストカットなど ポリコムが誇る高い汎用性。

無料アプリなどの活用も試行錯誤しましたが、結局は質の問題で満足に使用できず、ビデオ会議システムの導入を検討。3製品を比較検討し、充分とは言えない本社のネットワーク環境でも、会話のタイムラグも少なく、きちんと作動したポリコムを選定しました。画質の美しさ、ランニングコストがかからないという点も決め手になりました。

ネットワーク環境に合わせ、システム上のメインは島原支店。多地点機能のあるRealPresence Group 500を置き、本社にはRealPresence Group 310シリーズを2台、お客様との商談など対外的なミーティングの場にEagleEye IV 4x カメラモデルを、社内用の会議室にEagleEyeアコースティックカメラモデルを設置。メインである島原支店には、外部ネットワーク経由で佐世保支店や現場のパソコンなどから接続するためにEdgeProtect 4550

を置いています。汎用性の高いポリコムだからこそEdgeProtectと組み合わせ、リーズナブルかつセキュアな外部との接続を可能にしています。

これまでは、会議に出席するために各支店から本社へ定期的に社員が往復していました。特に建設会社にとって大切な工程会議は省略することができないもの。「会議の時間は仕事ですが、往復する時間は無駄です。忙しくても仕方ないと諦めるのではなく、どうすれば効率化できるかを考えるべき」と濱松社長。ポリコムのビデオ会議システムを活用することで、そうした問題は解消されていきました。タイムラグが少なく高音質で自然な会話ができ、書類を見せて共有できる高画質で、会議もスムーズに行えます。

広がり続ける
活用法

固定観念を捨てれば ポリコムの活用法はもっと広がる。

いつも忙しい社員2名が、同じ地域へ別々に出張する予定がありました。「どちらか1人が行けば済むだろう。顔を合わせた相手は、2人ともいるなら1人はタブレット越しでもいいじゃないか。1人が往復する時間を省いてほかの仕事ができるから、よほど効率的だと思わないか？」と濱松社長は2名の社員に説明しました。ポリコムとEdgeProtectの組み合わせであれば社外でのビデオ会議もちろん可能です。それは、より多くの仕事をこなせということではなく、もっと余裕を持ってほしいという考えなのです。

会社説明会でもポリコムを活用しています。濱松社長が実際に現れるのではなく、ビデオ会議システム越しに登場します。出席していた学生たちは、その意外な演出に驚くようですが、それは必要かどうかというより、若い人たちに固定観念を捨ててほしいというメッセージです。

年間約50棟を手がける株式会社 浜松建設 様。商習慣として1棟につき「地鎮祭」「上棟式」「引き渡し」の3回は責任者が現場に顔を出す必要があります。年間にすると約150回。それらもタブレットで参加するにすれば、その場にいるのと同じように対応ができ効率的です。

出張中の濱松社長と本社の間で打ち合わせをしたこともあります。移動中の濱松社長はタブレットで参加し、そこから指示を

出して仕事を進めることができたのです。

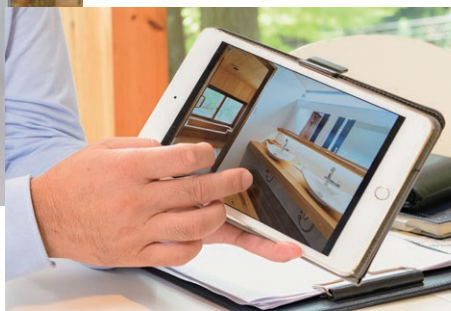
多忙を我慢するのではなく、どうしたら効率的になるのか、どうしたら余裕を持てるのか、つねに発想を豊かにしている同社では、これからますますポリコムのビデオ会議システムの活用幅を広げてくれるはずですよ。



創業地である島原支店では材木などの建築資材も扱っている。



「つねに可能性を考えています」と力強く語ってくれた濱松社長。



タブレットさえ持っていればどこでも会議室になる。

販売代理店

リコージャパン株式会社 長崎県東事業所 〒859-0401 長崎県諫早市多良見町化屋815-3
株式会社ツースポート 〒854-0081 長崎県諫早市栄田町15-66-2F

取材時期：2018年7月

お問い合わせ

E-mail dcs-info@princeton.co.jp

輸入販売代理店

株式会社プリンストン URL <http://www.princeton.co.jp/>

Polycom PRINCETON

PolycomおよびPolycomのロゴ、また、polycom、Incの米国およびその他の国における商標です。本報に掲載している会社名と製品名は米国またはその他の国における商標登録です。本報に掲載している製品写真は出荷時のものと一部異なる場合があります。本報の本文内ではTMマークや®マークは明記していません。